

なまじん

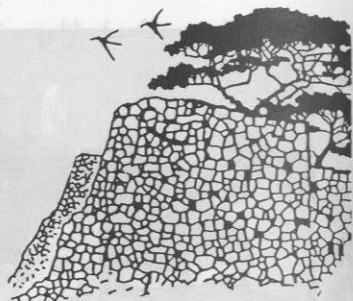
広報

毎月1日発行

12

1993

No.217



第19回 今帰仁村老人・婦人スポーツ大会 運動場一杯にパワー全開

平成5年10月31日現在



男 4,788(-4)



女 4,819(-5)



世帯数
3,095(+3)

村の人口
9,607(-9)

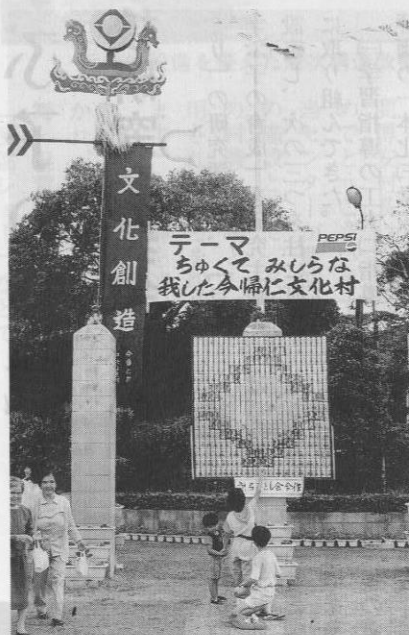
恒例となっている、老人婦人スポーツ大会が、文化の日の十一月三日、村営グラウンドにおいて盛大に開催された。大会は村老人クラブ（諸喜田幸福会長）と村婦人会（大城義子会長）の共催によるもので「世代間の交流と健康づくり」を目的に、毎年開かれている。競技に先駆け、玉城吉範老人代表、玉城明美婦人代表による「正々堂々伸び伸びと競技することを誓います」との力強い選手宣誓があり、大会への意欲を表わした。運動会は、老人対小学生による「玉入れ競争」、婦人会による「百M競争」、熱年男女による「リーム回し競争」「千変万化」など、二十代から八十代の年代に合ったプログラムで観客を楽しませた。現役で参加の渡嘉敷ツルさん（八十三才）は「八十代になってもまだまだ若い者には負けないよー」と話され、元氣一杯だった。

開成式、テープカット



多くの村民に作品発表の機会と鑑賞の場を提供するとともに、生活文化の充実発展と村興しに寄与しようと第十一回今帰仁村文化祭が十一月六日・七日の両日村中央公民館を主会場に、にぎやかに開催された。

六日午後二時よりの開成式では、今帰仁中吹奏楽部(仲原裕子部長ほか二十七名)による演奏の中、上間村長、大城助役、西島教育長によるテープカットが行われた。



ちゅくていみしらな我した今帰仁文化村



会場となった村中央公民館と村コミュニティセンターには、村民が多数訪れ、盆栽、生花、写真、絵画、給食展、遊具コーナー、特産品コーナーなど十八種に及ぶ展示コーナーが設けられ終始にぎわいを見せた。舞台は初日の大正琴に始まり北山保育園児によるかわいらしい演技、日舞、空手演武など、二日目は、与那嶺区、仲尾次区、今泊区、仲宗根区民踊サークルの踊りがくり広げられた。

今年五年マールの豊年祭を催した仲宗根区からは、「上り口説」「前め浜」「ムンジ

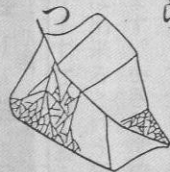


● 将来のことを考えている人
好きです 国民年金

● おさめて安心 老後につなぐユイマール

● 老後を大切にしたいから 国民年金

● 平成五年度国民年金標語決定!



沖縄のユイマール(助け合い)をイメージした名前とほのぼのとやさしい表情で、これから国民年金を応援します。よろしくね!

文化村

第十一回 今帰仁村文化祭を開催

今帰仁村を内外に紹介



子や孫の作品に見入る人たち

会場となった村中央公民館と村コミュニティセンターには、村民が多数訪れ、盆栽、生花、写真、絵画、給食展、遊具コーナー、特産品コーナーなど十八種に及ぶ展示コーナーが設けられ終始にぎわいを見せた。舞台は初日の大正琴に始まり北山保育園児によるかわいらしい演技、日舞、空手演武など、二日目は、与那嶺区、仲尾次区、今泊区、仲宗根区民踊サークルの踊りがくり広げられた。

今年五年マールの豊年祭を催した仲宗根区からは、「上り口説」「前め浜」「ムンジ

古宇利大橋(仮称)ルート案を提示

第一回技術検討委員会



上間清(琉大教授)委員長

活発な質疑が交わされた
技術検討委員会

提示ルート案

古宇利島と屋我地間に、二〇〇〇年の完成をめざして建設計画が進められている古宇利大橋(仮称)の第一回技術検討委員会(委員長、上間清琉大教授)が、十一月一日村内のホテルで開催されました。

委員会は、国、県、地方自治体の関係者など特別委員を含む十三名で構成され、今後、古宇利大橋(仮称)建設にむけ、建設全般にわたる、討議を進めていただく予定です。

今回は、初めての開催の為、会議に先立ち、架橋予定地の視察を行った後、議事に秒りました。会議では、事務局から現地の環境現況調査や

地質調査などの結果報告を行い、事務局案として、古宇利島と屋我地運天間のルートと比較案として古宇利島と屋我地と済井出間のルートを提示しました。

事務局案に対し地質や潮流など技術的な面やサンゴ、鳥類など環境への影響などについて活発な質疑が交わされ、ルート決定については、審議結果をふまえ、再度検討することになりました。

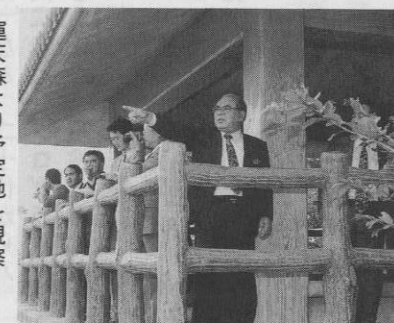
上間博安村長は「今回の技術検討委員会の開催により、いよいよ本格的な建設の第一歩をふみ出す事になりました」と早期建設に向けての期待を語

篠原東大教授

架橋予定地を視察



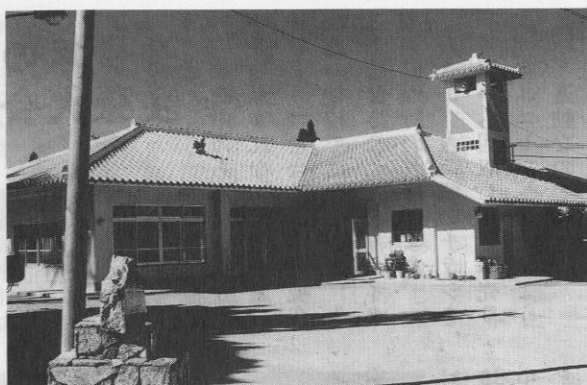
古宇利側取付予定地にて(右側が篠原教授)



運天森より予定地を視察

つていました。

なお、第二回の技術検討委員会は、来年二月を予定しています。



近代的設備を整えた兼次構造改善センター

組合員や区民が長い間待ち望んでいた、兼次構造改善センターがこのほど完成。この落成式と祝賀会が十一月六日、同ホールにおいて、組合員、区民、郷友会、関係者など多数の出席のもと盛大に行われました。

同センターは、農業構造改善緊急確立モデルの一環として、平成五年二月に着工、同年六月末完成。

総事業費は、四千六十二万三千円、内訳は国二千七百八十二万円、村補助金百万円、地元負担金千二百五十四万四千円、建築面積は、二百平方メートルで、大会議室のほか小会議室、料理講習室、など近代的設備を整えた鉄筋コンクリート平屋造り。

式典で山城正組合長は「今後私たちは、このセンターを研修の場として地域農業の振興、生活文化の向上に組合員一同が一体となつて、邁進していきたい」とあいさつした。

続いて来賓として上間博安村長は「落成おめでとうございます。当センターが農業経営の施設として、又集落の村興しの場として活用されることを切望します」と祝辞を述べた。

その後、祝賀会が開かれ、婦人会による「日舞・祝賀の舞」「琉舞」「民謡ショー」などで

上原沖縄開発庁長官 母校を訪れ 記念講演

上原康助沖縄開発庁長官は、十月十六日に母校の北山高校(阿波連本昌校長)を訪れ、大勢の生徒を前に講演を行った。上原長官は講演で在学時代はめだたない純情、かれんな少年であった。

全軍労時代に、仕事の中で差別を受け、そこからなにくその精神が生まれた事など、自分の生い立ちをユーモアを交えながらたんだんと話された。さらに長官は「どんなことでも真正面から取り組み努力することが大事である。人生はあきらめず、尊敬の心、ありがとうの気持ち、心を大切に国に社会にむかって前進し

生徒会長の玉城拓さんは「母校から大臣が生まれた事は、私達にとって大きなはげみになります。小さな学校でも、やれば出来るという気持ちで頑張ります」とお礼を述べた。

全校生徒を前に講演を行う上原長官

成人式のお知らせ

平成6年の今帰仁村成人式式典を平成6年1月4日(火)、コミュニティーセンターで行います。式典のご案内は、今帰仁村に住居登録されている新成人の方々に通知することになっています。

村出身者で現在村外にお住みの方も参加が可能です。式典に参加を希望される方は12月20日までに社会教育課に①氏名②生年月日③村在住時の住所④現住所を連絡の上お申し込みください。電話でも受け付けます。

電話 0980(56)2645・2647

村興の場への期待

兼次構造改善センターが落成

今帰仁小学校(宮里政順校長、在籍三七〇名)では、平成四年、五年度の二ヶ年間にわたり、県並びに村教育委員会の研究指定を受け十一月十日同校に於いて、研究発表を行なった。

玉城勝郎国頭教育事務所長、与那嶺猛村教育委員長をはじめ、多数の来賓の方々と遠くは石垣市からの参加など、県内各地の小学校教諭及びP.T.A.の会員が集った。

学校では「特色ある学校づくり」の取り組みを発表する



く」の研究領域で、「自ら学ぶ子の育成」を研究主題に設定し、次の三つを柱に研究に取り組んできた。

(一)学習指導の工夫(二)指導と評価の一体化(三)学校と家庭の一体化。

徳村政宜教務主任は研究の概要で、④何を勉強するか、⑤ききとこうだろ、⑥自分の力で解決する、⑦証拠をもつてまとめるとの学校名をなぞった学習指導の工夫を取り上げた。

それに、更に新しい学力観に立った評価を位置づけ、授業の中で評価し、通知表につないでいっている」と発表した。

大城百合子研究主任は、OHPを使って具体的事例を取り上げ、子ども一人一人の考えを大事にするためには、子どもたちに操作活動させることを強調していた。

それによって友達の考えの良さや自分の考えも修正確認し、思考力、表現力も高めることができた」と発表した。

「仲尾次誌」発刊される

全世帯写真入りで紹介

仲尾次区民(山城安永区長、百世帯、人口三百四人)待望の字誌「仲尾次誌」が、このほど発刊されました。

字誌は、A5判四百ページにおよび仲尾次の歴史や文化、産業、年中祭祀、戦争体験記録、風俗と習慣など、十八編にわたり字の現況や移りかわりを詳しく紹介している。

中でも特色と言えるのが、第十二編の「仲尾次の人々」で、仲尾次区民の全世帯を写真入りで紹介、屋号や、家族構成なども掲載している。

仲尾次誌は、昭和六十一年



発刊にあたり山内昌雄委員長は「先人達が築きあげた貴重な文化遺産をどう継承していくか、又、ムラがどのように発展したかを知る地域づくり資料として活用される事を願っています」と語っている。

村内では、「湧川誌」「謝名誌」「越地誌」「崎山誌」につづいて、五番目の字誌となります。

字誌希望の方は、一部二千円で販売しています。

詳しくは、山内昌雄(〇九八〇一五六二二八二八)まで。

年末年始の交通安全県民運動

1. (期間) 平成5年12月22日～平成6年1月6日
2. (運動のスローガン) のみません、いねむりしません、とばしません
3. (主 唱) 沖縄県交通安全推進協議会

少年の会 青少主張



優秀賞

リサイクル運動を通して

兼次中三年 東江雄也

「兼次中のあたたかい心を世界の恵まれない子ども達に届けよう」を合言葉に、現在僕達の学校では全校生徒、先生方をまきこんでのリサイクル運動が行われています。

あき缶、古新聞、チラシを各家庭から回収し、その売り上げをユニセフへ募金しようという運動なのです。その運動の提案をしたのは実は、ぼくなのです。

生徒総会について生徒会執行部で話し合いをしている時、毎年生徒会として取りこんでいるユニセフ募金運動について問題がこりりました。

顧問の先生が、「例年通りのやり方だと、ただお金を集めてしまっただけになってしまっているのではないか。」

ユニセフに協力する意義をどうすれば全校生徒に意識させることができるか、考えて「ごらん」と言われた事がきっかけでした。

僕は、常日頃から環境問題特にゴミ問題に関心を持って

いました。それですぐに、現在ゴミとしてすてているものを回収しその売上げで募金しようという案したのでした。

「めんどくさい」という反対の声もありましたが、「環境問題は、深刻だから私たち中学生でもできる事をやろう」という頼もしい意見も出、生徒総会で可決されたのです。ぼくが、どうしてゴミ問題に興味を持つようになったかと言うと、こんな苦しい体験があるからなのです。

三年前、家族でドライブした時の事です。車の中から外へ飲んだジュース缶を捨てて、したたか母にしかれたのです。

「今捨てた缶が土になるまで何年になると思うの？あき缶もリサイクルすれば立派な資源よ」その時は、そんな事ぐらいでおこるなんて短気だなあと思ったのですが、あとでよく考えてみると確かに母の言う通りなのです。

どこに原因があるのだろうか、まず、生徒達の中でリサイクルの大切さが理解されていない事や、回収する場所がきちんとないなどの反省ができました。

そこで、執行部の方で「生徒会便り」などや全体朝会などで呼びかけると、わずかつつではありますが集まってきました。

また、週に二度ゴミを捨てるのが、僕の仕事なのですがゴミ捨て場は、山のように積み上げられています。

一体各家庭からどれぐらいのゴミが出されているのでしょうか。

★「一番星見つけた」★

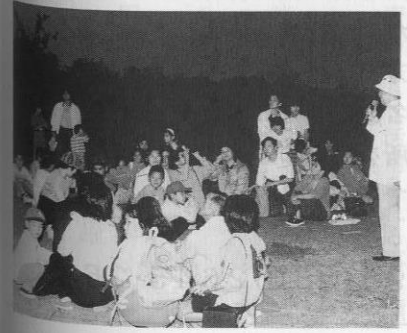
「星空を観る会」親子で学習

天小PTA

天底小学校PTA文化部(部長豊里友剛)及び家庭教育学級の合同による「星空を観る会」が、十月十四日、乙羽岳山頂の芝生広場で行われた。

講師には兼次教会牧師の村上仁賢先生をお招きし、一番星を見つけることから始まり、ラングを使って、星と星をつないで星座の名前を確認したり、星にまつわる伝説を聞いたりして、涼風が吹き渡る夕闇の中で百二十名余の親子が学習を深めました。

親子で参加の田港珠美さんは「今回の学習を通して、星



第30回 国頭郡陸上競技大会 女子が見事優勝

上間哲男選手が
総合で3位 優秀選手賞を受賞

第30回を迎えた国頭郡陸上競技大会が十月二十六日、本部町宮陸上競技場で開催され、国頭郡の十一町村が参加した。大会は秋空の下、絶好のスポーツ日和の中、男子二十一種目、女子十三種目、壮年十二種目に熱戦を展開した。

本村選手団は、女子やり投の宮里すま子選手が大会新で優勝したのを初め、各種目で大活躍した。

その結果、女子が見事優勝総合でも二位の本部と同点ながら三位入賞、男子・壮年は



女子優勝旗を囲んで選手の皆さん

四位と健闘した。
上位の成績は次のとおり。
(一般男子)
○百M・一位 仲宗根尚二(二十一秒二)
○二百M・一位 仲宗根尚二(四十四秒七)
○四百M・一位 宮里晃(一十三秒二)
○八百M・一位 宮里晃(三十四秒七)
○千五百M・一位 松田勝伸(四分三十二秒八)
○走高跳・三位 仲宗根武志(一M七十五)
○三段跳・三位 大嶺敦(十二M七十六)
○四百Mリレー・二位
(一般女子)
○二百M・一位 宮里優子(二十八秒八)
○やり投・一位

中南部の村出身者で構成する北山郷友会(上間隆則会長)の第十五回大運動会(仲松保雄実行委員長)が十月三十一日午前九時より那覇市内の金城小学校グラウンドで開催され心地良い汗を流した。

開会式で、上間隆則郷友会長は「本大会は、会員が一堂に会し郷里を語り、旧交を温めることが大きなねらいです。思う存分汗を流して下さい」とあいさつ。

プログラムは、ラジオ体操の後、自由参加の演技や出陣字対抗の競技が二十一種目にわたり展開された。

シマンチュのきずなを深めよう

北山郷友会が大運動会

宮里すま子(四十五M四十四、大会新) ○百M・二位 宮里優子(十三秒七) ○三千M・二位 与那嶺孝子(十二分九秒二) ○百MH・二位 久田友子(十九秒八) ○八百M・三位 与那嶺孝子(二分四十三秒) ○砲丸投・三位 宮里すま子(十一M六十八) ○年令別リレー・二位
(壮年)
○三十代・百M・一位 島袋幸輝(十一秒六・大会タイ) ○三十代千五百M・二位 石川清敏(四分四十秒一) ○五十代砲丸投・三位 連天康有(十一M三十一)
(県大会に出場する選手は次の方々です)
仲宗根尚二・宮里晃・瑞慶山良邦・嘉陽安彦・島袋幸輝・宮里優子・与那嶺孝子・宮里すま子

グラウンドは、熱演に対する拍手とともに、珍プレーの連続に笑いが絶えることなく、観声が響きわたっていた。対抗競技では、各種目に万遍無く得点を重ねた与那嶺、



華麗なるハードリング久田選手

歳末助けあい運動
地域でささえあう
明るいお正月

平成5年12月1日~31日
今帰仁村社会福祉協議会

越地のウヘーでの式典(昭和十七年)

昭和十二年は、越地が謝名と仲宗根の一部から分字した年である。初代区長に宮里政正氏、村議員に大嶺英松氏、今帰仁村長は玉城幸五郎氏であった。昭和十四年に区長として玉城真幸氏(明治三十七年生)が選任されたが、この年は防空演習が始まった年でもある。大政翼賛会が発足

し、紀元二千六百年の奉祝行事が行われるなど、戦時体制が強化されていた時代であった。昭和十六年には学校の名称が「国民学校」と改められ、隣保班が組織され、男子は常用服として国防色(カーキ色)の「国民服」を着用することになった。そのような時代の流れの中で、昭和十七

年小倉侍従武官の来村があった。今回紹介する三枚の写真は、小倉侍従武官が越地を視察した時の模様を写したものである(『越地誌』掲載)。

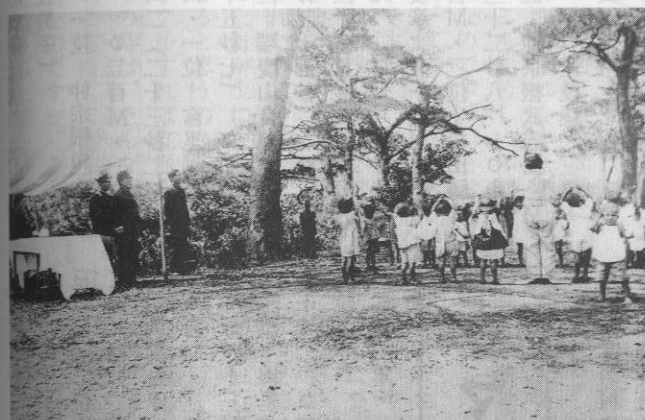
は、当時区長をしていた玉城真幸(明治三十七年生)さんである。「ウヘーに登り参加できたのは区長であつた私だけで、他の村人達は侍従に近寄ることが許されず公民館付近で待機させられた」、また「越地中の水を調べたが、謝名のナビタマヤの井戸の水が使われた」(玉城真幸さんの話)という。

一枚目の写真は同じくウヘーで、園児たちのゆうぎを武官に披露しているところである。丸坊主やオカッパ姿の園児たち。時代の動きを知らず、あどけなく懸命にゆうぎをしている姿、ゆうぎはそつちのけでカメラに向かっていている園児が一人。戦争への時代の流れを知りつつ、園児のゆうぎをしている姿をみている大人たちは、子供たちに何を期待したのだろうか。

下の写真は、小倉侍従武官が越地を視察したことを記念して撮影した写真である。最前列にウヘーでゆうぎをした園児たちが並び、その後方に国防服を着た青年団や少年団の姿がある。中央部には区長の玉城真幸さんをはじめ果の役人などみえる。また、右側には和服姿で着飾った婦人たちの姿もある。



▲越地の状況を説明する玉城真幸氏(右側)(昭和17年)



▲小倉侍従武官にゆうぎを披露する園児たち(昭和17年)



▲侍従武官来村の記念写真(昭和17年)

下は、現在も村行政改革審議委員会の一員として村政を見守る一方、今帰仁村ゲートボール協会会長や高齢者学級長など数々の長として、御活躍されています。

嘉陽宗哲氏(元議長)が受賞

秋の叙勲に輝く

嘉陽宗哲氏(元議長)が受賞



嘉陽宗哲氏

秋の叙勲が十一月三日、文化の日発表され、村内から嘉陽宗哲氏(湧川六〇三)が勲五等双光旭日章を受賞しました。

嘉陽宗哲氏は、昭和二十八年村議会議員に当選以来二十五年六ヶ月(内議長八年)にわたり、地方自治発展の為に

『広報なきじん縮刷版』No.2を発売

「広報なきじん縮刷版」が発刊されました。

今号は、一九八四年に発

刊された一号に続くもので、一九八四年四月から一九九二年七月(八年四ヶ月)までにかけて発刊した広報(二百八ページ)を収録したものです。

ご希望の方は、今帰仁村役場総務課広報係まで。(定価一〇〇〇円 郵送の場合はお問い合わせ下さい) 電話 五六一二二〇一

兼次区が社会保険長官賞
年金検認向上に多大な寄与

表彰を受けた兼次区(中央・比嘉区長)

十一月は、国民年金制度推進月間です。

年金月間にあたり、十一月八日那覇市内において、平成五年度国民年金優良市町村等の表彰が行われました。

表彰の対象は、過去三ヶ年

の検認率が八十五%以上の字で、今回栄えある社会保険長官賞に輝いたのは兼次区で、比嘉区長をはじめ年金推進員の努力と協力により、検認率九十%と偉業を達成しました。

受賞にあたり比嘉龍彦区長は、「国民年金の納め忘れのないよう字民に周知徹底を図りながら、字から一人の無年金者も出ないよう年金推進を進めていきたい」と語っていました。

本村の長官賞受賞は、昭和五十七年崎山区、昭和五十八年謝名区、平成三年越地区以来の名誉ある表彰となります。

沖縄文化協会・金城朝永賞
仲原弘哲氏が受賞

度今帰仁村歴史文化センター準備室(教育委員会)の仲原弘哲氏が金城朝永賞に輝いた。授賞の主な理由は「本島北部地域、特に今帰仁村を中心とした地域史研究の推進者として活躍し、地域文化の発展に大きな役割を果たしてきた業績が認められた」ものです。

十一月二十七日に東京で授



去る十月二十六日の新聞紙上で沖縄文化協会の各賞(比嘉春潮賞・仲原善忠賞・金城朝永賞)の発表があり、この

村民カレンダー



12月/師走

1993年

12月1日 水	○ 幼児ことばの教室(土・日・祝除く 毎日9:00~17:00コミセン) ○ デイサービス(土・日・祝除く 毎日9:00~17:00コミセン) ○ 一歳半健診(13:00~14:00コミセン)、心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
2日 木	
3日 金	○ 歯科相談(13:00~14:00コミセン) ○ 料理教室(14:00~17:00中央公民館)
4日 土	○ インフルエンザ予防接種(14:00~15:00コミセン) ○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
5日 日	
6日 月	○ ツ反予防接種(14:30~15:30コミセン)
7日 火	○ 特設人権相談(13:00~15:00コミセン) ○ 着付教室(20:00~22:00中央公民館)
8日 水	○ 研究発表会天底小学校(14:00~17:00) ○ BCG予防接種(14:30~15:30コミセン) ○ 心配ごと相談(10:00~17:00コミセン)
9日 木	
10日 金	○ 社交ダンス教室(20:00~22:00コミセン)
11日 土	○ 第3回今帰仁村健康まつり(コミセン、中央公民館) ○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
12日 日	○ 第3回今帰仁村健康まつり(コミセン、中央公民館)
13日 月	
14日 火	○ 着付教室(20:00~22:00中央公民館)
15日 水	○ 3歳児健診(13:00~14:00コミセン) ○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
16日 木	○ 老人大学修了式(14:00~コミセン)

17日 金	○ DPT予防接種(13:00~14:00コミセン) ○ 料理教室(14:00~17:00中央公民館)
18日 土	○ クリスマスパティー(希望の会13:00~コミセン) ○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
19日 日	○ 第25回今帰仁村少年少女ミニバスケット(湧川小中)
20日 月	
21日 火	○ 歯科相談(13:00~14:00コミセン) ○ 着付教室(20:00~22:00中央公民館) ○ 冬至
22日 水	○ 1人暮らし老人激励会(14:00~コミセン) ○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○ 年末年始交通安全県民運動~平成6年1月6日まで
23日 木	○ 天皇誕生日
24日 金	○ 酒田少年の翼来村
25日 土	○ 酒田少年の翼交歓会
26日 日	
27日 月	
28日 火	○ 御用納め
29日 水	○ 役場年末休日
30日 木	○ 役場年末休日
31日 金	○ 大晦日 ○ 役場年末休日
1日 土	○ 元旦 ○ 役場年始休日

※ご芳志ありがとうございました。

○ 玉城昇さん(平敷九一)より母、スミさんの香典返しとして五万円。

○ 小那覇安伝さん(渡喜仁七)より母、ツルさんの香典返しとして十万円。

○ 玉木英恒さん(那覇市首里崎山町四一八二一一運天出身)より父、英律さんの香典返しとして十万円。

○ 玉本静男さん(謝名三一六)より母、トギさんの香典返しとして十万円。

■ 村老人クラブへ

○ 玉城昇さん(平敷九一)より母、スミさんの香典返しとして五万円。

○ 小那覇安伝さん(渡喜仁七)より母、ツルさんの香典返しとして十万円。

○ 玉木英恒さん(那覇市首里崎山町四一八二一一運天出身)より父、英律さんの香典返しとして十万円。

○ 玉本静男さん(謝名三一六)より母、トギさんの香典返しとして十万円。

■ 社会福祉協議会へ

○ 玉城昇さん(平敷九一)より母、スミさんの香典返しとして五万円。

○ 小那覇安伝さん(渡喜仁七)より母、ツルさんの香典返しとして十万円。

○ 玉木英恒さん(那覇市首里崎山町四一八二一一運天出身)より父、英律さんの香典返しとして十万円。

○ 玉本静男さん(謝名三一六)より母、トギさんの香典返しとして十万円。

編集後記 情報コーナー



2寄付